**「コミュニティ心理学研究」投稿時チェックリスト（2023年4月1日改訂）**

投稿する前に以下について確認の上、署名欄に署名し、電子化した投稿チェックリストを原稿と一緒に提出してください。下記項目に従っていない場合、投稿を受領しないことがあります。

１．投稿資格

筆頭著者は、日本コミュニティ心理学会の正会員および名誉会員で、本年度の年会費を納入している。

論文は未発表で、かつ他の学術雑誌に投稿中ではない。

研究対象者にインフォームドコンセントを行い、成果の公表において対象者その他の関係者の承諾を得ている。

※承諾を得ていない場合は、具体的にその状況・理由を別紙に記して送ること。

※総説論文で直接的な研究対象者が存在しない場合は、右の欄をチェックすること→　総説論文のため該当しない。

所属する機関に研究倫理審査委員会等がある場合、その審査を受け、研究実施の承認を得ている。

※所属する機関に研究倫理審査委員会等がない場合は、執筆・投稿のてびき7条を参照の上、人権擁護のための配慮、安全確保の方策、個人情報の保護、および倫理的問題が発生した場合の対応について、どのような対策を講じたのかについて、別紙に記して送ること。

※総説論文で直接的な研究対象者が存在しない場合は、右の欄をチェックすること→　総説論文のため該当しない。

その他、論文の内容と研究の手続きは「日本コミュニティ心理学会倫理綱領」に準じている。

２． 原稿の体裁

原稿は 学会所定の論文用テンプレートを用いて作成した。

原稿の1ページ目には、論文種別の他、表題 (日本語・英語)、英語を母国語とする者の査読済みの英文アブストラクト、key words (日本語・英語)が記載されている。

論文の長さは、TableおよびFigureを1枚500字として換算して原著・総説は20,000字以内、資料は10,000字以内になっている。

３． 本文

見出しや統計用語の記載など、各種の記載事項は執筆・投稿のてびきに準じたものになっている。

同一の調査から本研究とは別の論文を投稿あるいは発表している場合、「『コミュニティ心理学研究』執筆・投稿のてびき」の14に従って、本文を作成した (投稿時に別の論文がある旨を申告するとともに該当する別論文を提出すること)。

※データの分割等を行っておらず該当しない場合は、右の欄をチェックすること　→　本項目には該当しない。

同意語や類似概念の混在を避け、名称や用語が統一されている。

本文中の文献の引用の仕方は、日本心理学会の発行する最新の「執筆・投稿の手びき」に従っている。

４． 引用文献リスト

引用したすべての文献がリストアップされている。かつ引用していない文献はリストに入っていない。

文献リストと本文の引用に、綴りや年号の不一致がない。

リストの順序は、著者の姓のアルファベット順，同一著者については年代順となっている。

その他、引用文献の記載の仕方は、日本心理学会の発行する最新の「執筆・投稿の手びき」に従っている。

５． 図表

TableおよびFigureの表題は、引用順に番号を振り、**Table 1**、**Figure 1**のようにボールド体で記載した後、改行の上、表題を記載している。またその際、いずれも左寄せで記載している。

TableおよびFigureは1枚の用紙に1つずつ書かれている。

６．著作権の帰属と論文の公開

本誌に掲載された論文等の著作物に関する国内外の一切の著作権（著作権法第21条から第28条までに規定される

すべての権利を含む）が、日本コミュニティ心理学会に帰属することを認める。

本誌に掲載された論文を電子化して公開することに同意する。

以上、間違いありません。

　 　　　年　　 　月　　 　日　　署 名 ：